

くらサポ ニュース ^{NO.} 121

2024/11/1



最近の事例紹介

いつも通院同行のサポートを利用している方です。

少し離れた複数の医療機関に通院しています。

利用者さんは歩行が困難な為、サポーターが院内を車いすで押し、薬局で薬をもらい、売店で買い物をしています。近くのサポーターが見つからない場合は少し離れた地域のサポーターが援助してくれることもあり、助け合いながら通院同行が続けられています。最近、この利用者さんから、話し相手の依頼がありました。

コーディネーターは、サポーター探しに奮闘中です！ (川口市 60代)



コーディネーター リレートーク (第22回)

さいたま市

秋山 晴美さん 

組合員どうしの助け合いボランティアとして誕生した「くらしサポーター」です。最近では介護保険で賄えないサービスが増えているようで、援助を希望する組合員さんが増えています。

一方、サポーターの年齢は高齢化しており、新しい仲間(サポーター)を増やす必要があると感じています。

今できる事は、声を挙げて困っている人に手を差し伸べられる優しい社会を作るお手伝いが出来たらと思います。

長い間のサポート、 ありがとうございました！

利用者さんは、他団体で家事援助サポートを利用していました。しかし、コロナ禍で利用できなくなり、くらサポに依頼がありました。残念ながら、9月末で援助終了になりました。

サポーターは、「とてもよい人生勉強になりました。ボランティアは大変ですが楽しいこともありよかったです」と振り返っていました。(川口市 サポーター)



地域包括支援センターから依頼で、1年半にわたり、掃除・買物代行・通院同行のサポートなどを行ってきました。残念ながら、このたびサポートが終了しました。

サポーターは、「サポート中はやりがいがあったよかったです」と振り返っていました。(富士見市 サポーター)

サポーター募集中

実施自治体ではサポーターを募集中です。あなたの力を困っている方々に貸していただけませんか？



医療生協さいたま

地域福祉相談支援センター/くらしサポーター事務局

直通電話 048-296-8692